

社会的養護 I	1年 前期	講義2単位	担当教員名	井坂 亨
	卒選 幼選 保必			
授業のテーマ及び到達目標 ① テーマ： 日本における社会的養護の現状と課題の理解 その1 ② 目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの社会的養護の理念や歴史について理解する。 ・ 子どもの社会的養護の概要及び制度と法体系について理解する。 ・ 児童福祉施設での子どもの養護の運営と管理及び援助者について理解する。 				
授業の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・ 近年、子どもや家庭・地域社会を取り巻く環境の変化や保護者の就労等の多様化により、保育現場は業務量の拡大業務内容の多様化がもたらされている。虐待に代表されるような児童・家庭問題の多様化、複雑化に対応するため、保育士の専門性、施設の組織的対応、地域機関との連携などが求められる。こうしたことから、この科目では、特に社会的養護の基本的な理論として、社会的養護の意義や歴史、社会的養護と児童福祉の関連および児童の権利擁護、社会的養護の制度や体系、自立支援などを重点に学び、社会的養護Ⅱで学ぶ養護の内容面に繋げていく。 				

授業計画

コマ(回)	項目	内 容
1	イントロダクション	社会的養護 I の科目で学ぶこと
2	社会的養護の基本的考え方	子どもの社会的養護の理念と概念
3		社会的養護の位置づけ
4	子どもの社会的養護の歴史	欧米にける社会福祉観緒変遷と子どもの社会的養護
5		日本にける社会福祉観緒変遷と子どもの社会的養護
6	子どもの社会的養護の概要	子どもの社会的養護の体系 社会的養護と児童相談所
7		養護施設の概要（養護環境に問題を抱える子どものための施設） 養護施設の概要（心身に障害を抱える子どものための施設）
8		養護施設の概要（情緒・行動に問題を抱える子どものための施設） 養護施設の概要（その他の施設）
9	社会的養護の制度と法体系	社会的養護の制度 家庭的養護の概要
10		社会的養護の法体系
11	施設の子どもの社会的養護	社会的養護の特質と機能
12		施設養護の基本原理
13		施設養護の流れ
14	児童福祉施設の運営と管理 及び援助者	児童福祉施設の運営
15		児童福祉施設の管理 援助者
定期試験	15 コマの講義終了後に筆記試験を実施する。	
テキスト	子どもの養護 ―社会的養護の原理と内容― 松本峰雄 編著 建帛社	
参考図書	改訂 子どもの社会的養護 望月 彰 編著 建帛社	
教員の 評価方法	授業態度（15%）、レポート・提出物状況（15%）定期試験（70%）の総合で評価	
準備学習等 履修上の留意点	授業前の準備＝前時に予告したテキストの熟読。授業後の指導＝毎時学習プリントを配布するので復習の励行	